

平成23年度
実施事業

事務事業名 防犯灯設置費補助事業

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	5	犯罪のない安全なまちづくり
小分類	1	防犯対策の推進
主要な施策	2	地域ぐるみの防犯活動の推進
事務事業番号	004	事業開始年度 昭和 43 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	各町内会が設置して維持管理を行っている、防犯灯の新設・補修工事費の一部を補助することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	各町内会が新設・補修する防犯灯の費用について、工事費の3分の2以内(上限額3万円)を補助した。 補助対象町内会等 45町内会等(町内会44、地区連合町内会1) 補助金の総額 4,072,600(147基) (内訳)・新設 1,447,200円(49基) ・補修 2,625,400円(98基)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	犯罪を未然に防止し、地域住民が安心して暮らせるまちづくりを進めるため、防犯灯を設置する意義は一層増していることから、今後についても町内会に対して設置費や改修費の一部を補助する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市町内会等の補助金等の交付に関する規則

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	4,712	4,073	7,830	7,830	7,830
事業費合計			4,712	4,073	7,830	7,830	7,830

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	防犯灯設置数(当該年度内の新設及び補修の数)	基	目標値	196	188	161	161	161
			実績値	170	147			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
設置者（町内会等）及び市の維持管理経費等の負担軽減などを図るために、省エネルギー型防犯灯を設置する事業を補助対象とするか検討が必要。	設置者（町内会等）及び市の維持管理経費等の負担軽減などを図るため、省エネルギー型防犯灯を設置する事業を補助対象とした。また、平成24年度より省エネルギー型防犯灯の補助上限額を増額することとした。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》	
1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	市内の犯罪数は、減少傾向であるが、全国的に見ても犯罪の低年齢化や質の変化が顕著な中、本事業は地域の安全を守るための犯罪防止策の基本中の基本の施策である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	防犯や交通安全の観点において、必要な事業である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	予算額の削減は、防犯灯数の現状維持を下回る可能性が大きいため困難である。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	地域住民が安心感を得られている。また、省エネルギー型防犯灯を25基導入した。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	安全で安心な地域社会の構築のために必要な事業である。

行政評価会議による評価		《Check》
改善	備考	更なるLED化の推進に向けた積極的な普及・啓発に努めること。